



6月

病児保育だより



2026年
ひよこハウス

新年度スタートしてから2ヶ月。環境の変化や大型連休を経てお子様もすっかり新しい環境に馴染んでこられたのではないのでしょうか。色とりどりの紫陽花がきれいに咲く季節となり、新年度の疲れが出やすい頃でもあり、体調を崩しやすい時期です。お子様一人ひとりの体調に寄り添いながら、安心して利用していただけるよう、病児保育室でもゆったり安心できる環境を整えてお待ちしております。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)

おたふくかぜってどんな病気？

おたふくかぜは「ムンプスウイルス」による感染症です。耳の下(耳下腺)が腫れるのが特徴で、発熱やだるさ、食欲の低下などを伴うこともあります。

主な症状

- ✓ 耳の下やあごの下が腫れる (片側だけのこともあります)
- ✓ ほっぺがふくらんで見える
- ✓ 発熱
- ✓ 食べると痛がる (口を開けにくいことも)
- ✓ 頭痛・だるさ・食欲がない



上記のような症状が見られたときは、早めに医療機関を受診しましょう。

ご家庭での過ごし方

- 水分をしっかりとりましょう
発熱や食欲低下により、脱水になりやすくなります。
- やわらかく食べやすいものを
うどん・スープ・ゼリーなど、のどごしのよいものがおすすめです。
- すっぱいものは控えましょう
酸味の強い食べ物は、腫れや痛みを強くすることがあります。
- ゆっくり休みましょう
安静にして、十分な休養をとりましょう。



予防のためにできること

手洗いをしっかりと

せっけんを使って、こまめに手を洗いましょう。



咳エチケットを守りましょう

咳やくしゃみが出るときは、マスクやティッシュ、袖で口や鼻をおさえましょう。



ワクチン接種も有効です

おたふくかぜワクチンは発症予防や重症化予防に有効です。接種については、かかりつけ医にご相談下さい。



登園の目安

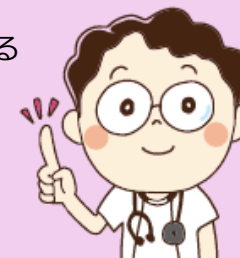
耳下腺などの腫れが出てから5日を経過し、全身状態が良いことが目安とされています。医師の指示に従い、無理なく休養しましょう。



合併症に注意しましょう

まれに、次のような合併症を起こすことがあります。いつもと様子が違うときは、すぐに受診しましょう。

- ・強い頭痛・繰り返す嘔吐
 - ・高熱が続く・ぐったりしている
 - ・首の痛み・お腹の痛み
 - ・耳の聞こえが悪い
- 特に男の子では「精巣炎」を起こすことがあります



4月・5月の利用者

インフルエンザ B・感冒・嘔吐症
水痘・溶連菌感染症・上気道炎
扁桃炎・手足口病・中耳炎・下痢症
ヒトメタニューモ・急性気管支炎